

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	財政課
基本構想	戦略的行政運営
重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(3) 事業費助成方式の推進
実施計画事業	1) 事業費助成方式の推進(No.77)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	事業助成方式の検討	—	B
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	団体によっては、事業費のみならず運営費にも補助金を充てている状況がある。 政策的な側面が大きく、具体的に補助金の内容まで踏み込み難い。		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	町の財政状況等から団体補助金については、毎年において見直しを図ってきたが、団体によっては町補助金に活動原資を大きく依存しているところもある。政策面から簡単にはいかないが、将来的な課題として随時見直ししていくべきである。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	各団体を管轄する町の部署と協力して、団体の独立性を高める努力を促し、併せて補助金についても効果的な手法等を研究していきたい。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	団体補助金については、画一的に判断できない側面もあるが、継続してあり方を見直し、検証していく必要がある。		